

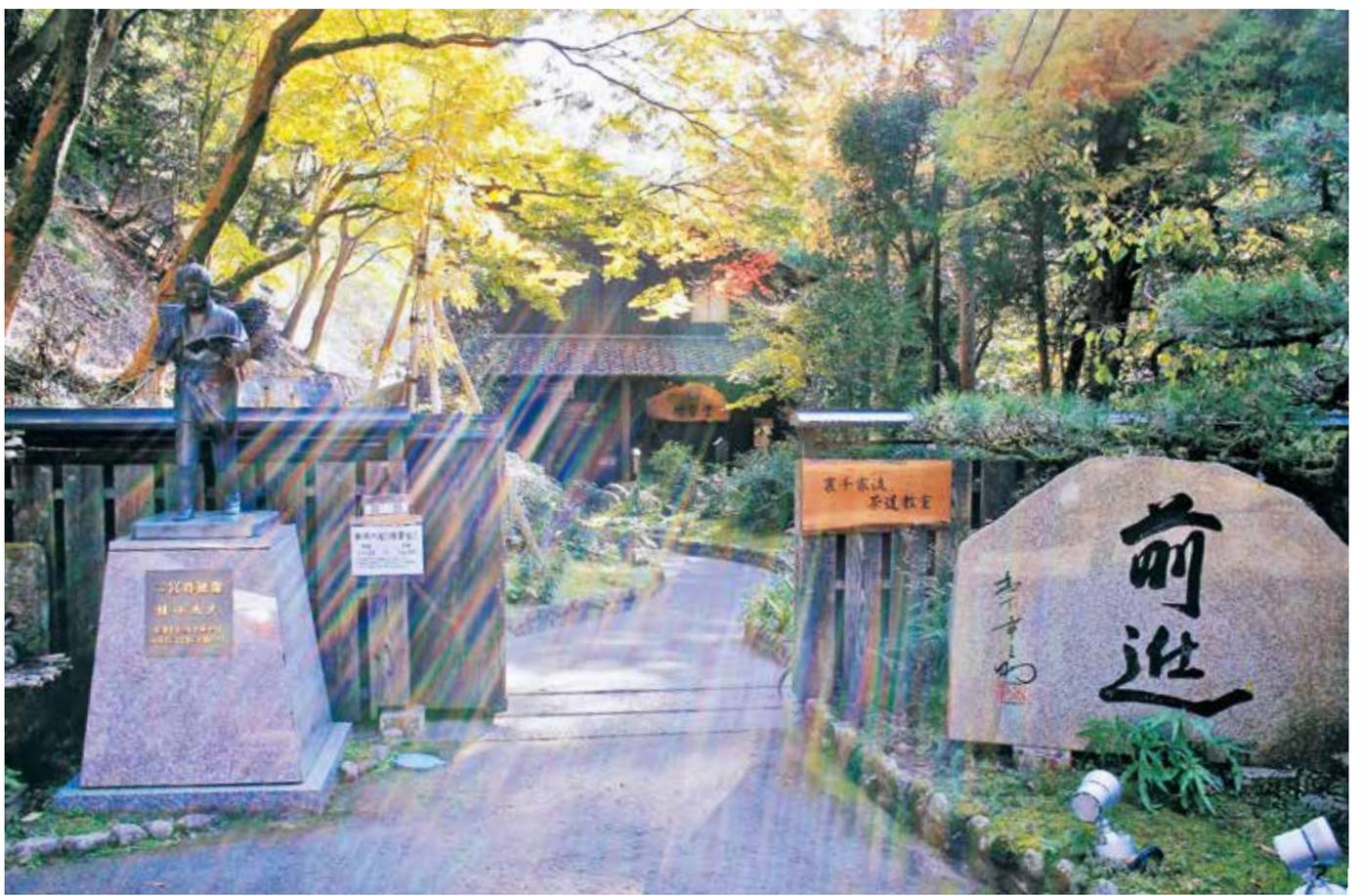


みのお市議会だより

2018.5.15 vol.111



第1回定例会号(2月議会)



時習堂にて(撮影:如意谷在住のT.K.さん)

今定例会の焦点

くらしを守るまちづくりに向けて

~平成30年度当初予算が決定~



厳しい指摘を交えて慎重審議

新年度予算を審議する第1回定例会が開催されました。

倉田市長は、施政及び予算編成方針演説において、昨年末に起こった児童虐待事件について触れ、子どもの見守りを平成30年度の最も重要な命題と位置付けました。加えて、子どもたちに限らずあらゆる角度から広く市民のくらしを守らねばならないとの決意のもと、新年度に向けた方針が示されました。

議会に提出された各種新年度予算案は、児童虐待防止強化策としての児童相談支援センターの創設、市が最前線で高齢者支援を行う市直営の地域包括支援センターの新設、「垂直避難」という新たな発想による豪雨土砂災害対策の推進、新消防署の整備、市立病院の移転建て替えなど、くらしを守る取り組みがたっぷり盛り込まれたものでした。

本会議、委員会を通じて慎重かつ活発に審議が行われ、全ての予算案は可決されたものの、一部事業に対して附帯決議(議決にあたり意見や要望を付けること)が採択されたほか、一般質問において、一部議員から市立病院の経営や移転建て替えに対して深く踏み込んだ指摘、追及が行われるなど、予算執行に当たって強くもの申す形で審議が終了しました。

議会の活動は、くらしを守ることに直結します。この議会だよりでは、できる限りわかりやすく議会の動きを伝えていきますので、これからもご一読ください。

このほか、今定例会では、条例議案や補正予算など計57件が審議され、いずれも提案どおりに議決されました。

第1回定例会(2/19～3/26)の議案

- 当初予算…11件 ●条例案件…24件 ●補正予算…8件
- 報告案件…2件 ●人事案件…2件 ●その他…10件

議案の詳細は、市議会ホームページ「提出議案・議決結果の一覧」をご覧ください

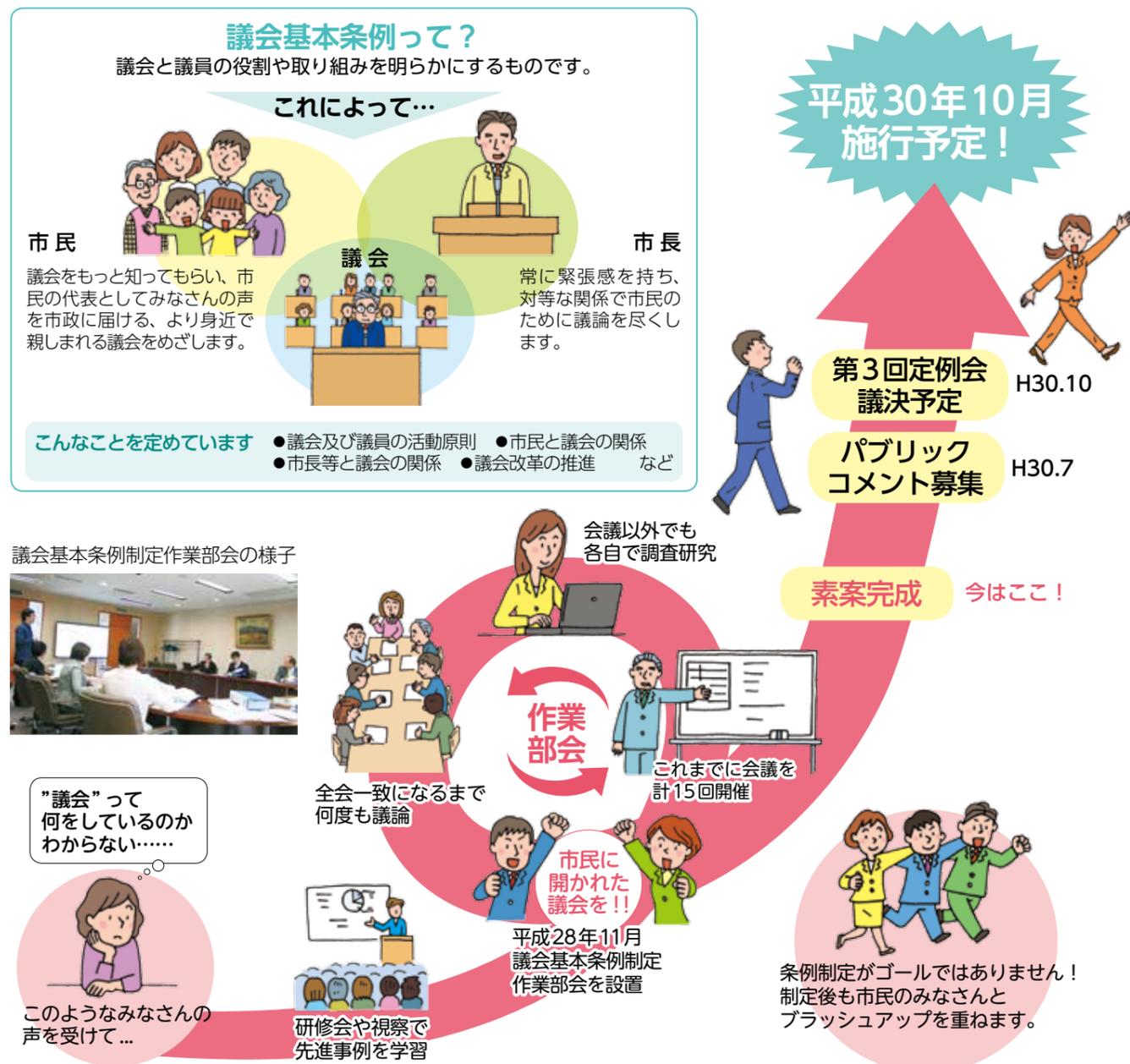
今定例会で行われた議論の主な内容は、下記のページで紹介しています。

- 4p **代表質問**…新年度市政に関する質問・提言
- 8p **常任委員会**…議案審査で行われた質疑
- 10p **討論**…議案に対する賛成・反対の表明
- 12p **一般質問**…市政全般に関する質問・提言

箕面市議会基本条例(素案)への

みなさんの意見を募集します!

箕面市議会では、市民に開かれた議会をめざして、議会基本条例の制定作業を進めてきました。現在、条例案の土台となる素案が完成間近です。7月2日(月)から素案に対するみなさんの意見を募集します。



パブリックコメント募集 ～箕面市議会基本条例(素案)について～

【素案の閲覧】

- ①市議会ホームページ
- ②議会事務局(箕面市役所本館3階)
- ③行政資料コーナー(箕面市役所別館1階)
- ④豊川支所、止々呂美支所
- ⑤中央生涯学習センター、東生涯学習センター、西南生涯学習センター、みのお市民活動センター

【募集期間】平成30年7月2日(月)から7月31日(火)まで(郵便の場合は必着)

【提出方法】議会事務局へ郵送、電子メール、FAXまたは持参 ※電話や口頭では受付できません

【問い合わせ】議会事務局
〒562-0003 箕面市西小路4-6-1
TEL (072) 724-6705 FAX (072) 724-1568
✉ gikaip@maple.city.minoh.lg.jp

～平成30年度の市政の運営方針と予算を問う～

市長が、新年度における市政の運営方針と予算に関する考え方を述べた「施政及び予算編成方針」などに対し、各会派の代表者が質問を行いました。定例会の流れと、代表質問の主な内容をお知らせします。

全ての代表質問を動画で視聴できます 

動画の内容は公式記録ではありません。

定例会の主な流れ

新年度の予算が提出され審議する2、3月の定例会を第1回として、議会の1年が始まります。

年に4回定例会を開催し、議案の審議と一般質問により、市政をチェックしていきます。

第1回定例会では、市長の「施政及び予算編成方針」に対する代表質問も行います。

みのお市議会だより「ささゆり」では、できるだけ定例会の流れに沿って、その様子をお知らせしています。

開会

代表質問 このページ～P7



議案の審議



一般質問 P12～P15



各議員が、日頃の活動を通じて課題と感じている市政全般のことについて質問を行い、担当の部長などが答えます。

もっと詳しく! 定例会でのやりとり

当日なら

- 議場や委員会室で傍聴ができます
- 議場に来られなくても、パソコンやスマートフォンでライブ中継をご覧いただけます

終わった後も

- パソコンやスマートフォンで配信している録画映像をご覧いただけます
- 市役所別館1階行政資料コーナーや図書館、市議会ホームページで、会議録をご覧いただけます

箕面政友会

中嶋 三四郎(質問者)
川上 加津子、二石 博昭、内海 辰郷

児童虐待防止に向けた箕面市における今後の取り組み方策を問う!

問 昨年末の痛ましい児童虐待死事件を二度と起こさぬよう、本市では新年度に組織体制、人員体制の大幅な強化を進めていくが、重要なのは、常に最悪の事態を想定した対応を行うという意識やポリシーを持って業務に臨むケースワーカー、ソーシャルワーカーを育成することである。そのためには、福祉や教育といった制度や領域にとらわれない人事交流や研修が、人材育成の仕組みとして必要と考えるが、市の見解と今後の取り組みを問う。

答 組織体制を見直し、直接市民と関わり対応する機会を増やすことで、複雑多様化する福祉ニーズを把握し、制度や組織の壁にとらわれず、横断的に対応する組織づくりと職員の意識改革を進めていく。研修の充実や各分野間での計画的なジョブローテーションなど人材育成に努め、地域包括支援センターなどの運営法人との人事交流なども検討する。関係者によるケース会議で情報共有し、厳しい見立てを尊重することが、最悪を想定して動ける職員の育成にもなる。



ほかの質問事項

- 待機児童解消に向けた保育定員拡大と保育士確保策について
- 公立保育所・幼稚園の運営法人設立に向けた取り組みについて
- 船場地区の新学校建設に向けた取り組みについて
- 地域共生社会の推進と国の我が事・丸ごとモデル事業について
- 障害者施策の充実と地域生活支援拠点の整備方針について
- 災害時における避難体制と要支援者への対応について
- 非正規職員の雇用に対する法改正への対応について

日本共産党

村川 真実(質問者)
神田 隆生、名手 宏樹

「暮らしにくさ」が顕著化する中、市民の毎日を守るあたたかい市政を

問 今年度は5年に一度の生活扶助費見直しの年であり、約5%の引き下げが示されている。生活扶助基準は住民税、保育料、介護保険料、最低賃金などに連動するため、「暮らしにくさ」が一層深刻になることが心配であり、市民に寄り添うあたたかい市政を求める。貧困実態調査の結果を踏まえて、子どもの貧困対策を明確に示すべきである。各自治体で広がる給食の無償化や一部負担補助、また利用者の少ない貸与型ではなく給付型の奨学金制度の創設ができないか。

答 調査結果を踏まえ、子ども成長見守りシステムを構築。そのシステムを運用して、子どもの変化を的確に把握し、早期に適切な支援につなげるとともに、新たな施策の構築にも活用していく。給食費については、学校給食法に基づき、食材費のみ保護者の負担としている。奨学金制度については、日本学生支援機構の奨学金制度が充実してきたことや、府が私立高等学校等の授業料が無償となる制度を実施していることなどから、給付型奨学金の創設予定はない。



ほかの質問事項

- 幼児虐待死事件の経過検証は
- 事件後に行った要保護児童全ケースの再調査の検証状況は
- 保育士確保の更なる対応策は
- 教員の働き方改革について
- 部活動完全休養日の実施は要望書などを聞き入れ回答すべき、丁寧な合意形成が必要と考えるが
- 滝道の災害復旧について
- 箕面グリーンロードトンネルと新名神箕面トンネルの自然環境の保全是、モニタリングを
- 福祉有償運送について
- 新駅のバリアフリー化計画は
- 公園トイレの手すり設置について

公明党

田中 真由美(質問者)
楠 政則、岡沢 聡

人を育み、子どもにやさしいまち 箕面の子育て支援について

問 児童相談支援センターの設置において、厚生労働省が示す設置運営要綱の業務内容を確実に実行することを要望する。また今後①地域からの通報・相談の徹底、②保護者の心身の健康など家庭への支援、③民生委員・児童委員との連携、④妊婦時からの把握が必要と考えるが見解は。また、保育士確保対策事業の生活支援補助金の補助期間3年が今年度で終了する人も出ることから、制度の継続または補助内容の変更などの検証が必要だと思いが見解は。

答 厚生労働省が示す子ども家庭総合支援拠点の業務内容を、センターの業務内容に位置づけ着実に実施する。今後①虐待通報の方法や通報を受けた場合の市の対応などを具体的に周知する。②行政との日常的な接点をつくり継続的に見守りつつ、育児負担の軽減を図る。③より深い連携手法を見いだす。④出産前からの状況を適切に評価し対応方針に反映させる。生活支援金については、受給終了者の動向を聞き取り、制度設計の再構築の必要性などを検討する。



児童相談支援センター(市役所別館2階)

ほかの 質問事項

- (仮称)くらしのお困りごと相談所での相談後の体制の整理と地域包括支援センターとの連携について
- 認知症サポーターの今後の活躍の場の取り組みについて
- 滝道へのOsaka Free Wi-Fiの早期設置を
- 消費者被害の市民安全メールの具体的な注意喚起の配信を
- 部活動指導員の配置による先生の負担軽減と生徒への説明の必要性について
- SNSを使った子どもいじめ相談の実施について

など

大阪維新の会箕面

神代 繁近(質問者)
堀江 優、尾崎 夏樹、今木 晋一、尾上 克雅、武智 秀生

児童虐待事件を受けて、 市の対応と今後の方策について

問 昨年末に箕面市内で起きた児童虐待事件。市は幼い命を見守る立場であり、真っ先に異変に気づく立場であった。現在、市は、市や子ども家庭センターなどでつくる「市要保護児童対策協議会」の実務者会議に、箕面警察も参加してもらい連携を図り、早期に対応して事件を未然に防いでいこうとしている。今回の調査経過を踏まえ、どうしたら救えたと考えているのか。また今後は、複合的な方策での対応が必要であると思いが見解を問う。

答 昨年8月にネグレクト^{*}の状態が悪化したときに、子ども家庭センターと協議し、一時保護か訪問による状態確認をするのかを相談する必要があった。今後は、児童相談支援センターを立ち上げ、社会福祉士などの専門職を配置し、家庭状況を適切に評価できる体制を整える。また、要保護児童対策協議会児童虐待部会に、弁護士など学識経験者を加え第三者の客観的な意見を踏まえるとともに、府にも強力な指導を依頼するなど総力を挙げて取り組む。



ほかの 質問事項

- (仮称)新箕面駅の駅ビルの整備スケジュールと内容
- (仮称)箕面船場駅前に整備予定のアートギャラリーの状況
- 土砂災害警戒区域内における「垂直避難」の導入と安全性
- 今後の消防力の強化
- 高齢者の特殊詐欺被害防止のための取り組み
- 「学校力パイロット校」の検証と今後の方向性
- 「みどりのまちづくり」に対する市の見解
- 太陽光発電設備の建設に係る規制の内容と考え方

など

自民党市民クラブ

林 恒男(質問者)
藤田 貴支、中井 博幸、牧野 芳治、上田 春雄

病院事業会計について

問 新・市立病院改革プランを策定して、1年も経たないうちに、初年度の目標に大きく不足する見通しとなっている。市立病院の移転建て替えが決定した今、新しい市立病院では、どのような手法で患者に信頼され、黒字化をめざしていくのかを問う。

答 内科系医師の早期確保、内科の専門的治療の充実、地域連携の窓口スタッフの増強、開業医との連携などにより、実入院患者を増やし、2025年度の黒字化をめざして取り組む。

問 新・市立病院改革プランで、確実に黒字化が達成できる確証はどこに求めれば良いのか。黒字化が順調に進まない場合は、移転建て替えの再検討もあり得るのかを問う。

答 黒字化への確証は、公立病院は赤字が当たり前と、漫然と運営されていた過去の市立病院が黒字化してきた実績に求めるほかない。移転建て替えによる医療機能や集客力の向上も黒字化への好材料となる。現時点で移転の再検討に言及するのは時期尚早であり、まず収支改善の努力をしたい。



ほかの 質問事項

- 今回と同様の児童虐待事案が二度と起こらないための仕組みは
- 施政及び予算編成方針で語られた「次の扉」の先にあるものは
- 大阪大学箕面キャンパス跡地にスポーツセンターを設置し、グラウンドゴルフなどができる芝生広場を設置してはどうか
- 市立病院跡地に建設する小学校について、小中一貫校も視野に入れて慎重に検討すべきでは
- 新名神高速道路の全線開通に伴い、箕面今宮線の通行車両の増加も想定されるため、早期に芝如意谷線を全線開通すべきでは

特別委員会

～市の重要テーマについて議論しました～

2つの特別委員会を開催しました。
主な内容をお知らせします。

全ての内容を動画で視聴できます

箕面市議会 検索

動画の内容は公式記録ではありません。

交通対策特別委員会

(1月31日開催)

- 北大阪急行線延伸について
 - ・ (仮称)新箕面駅・(仮称)箕面船場駅周辺の駐車場整備
 - ・ 坊島四丁目交差点付近の渋滞対策と歩行者の安全対策 など
- 地域公共交通バスについて
 - ・ 鉄道延伸後のオレンジゆづるバス・路線バスの在り方 など
- 新名神高速道路について
 - ・ 事故発生時の消防・救急の出動体制 など

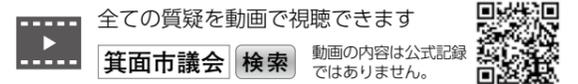


北大阪急行線延伸工事を視察

彩都・箕面森町地域整備特別委員会

(2月8日開催)

- 彩都(国際文化公園都市)について
 - ・ 地区内バス路線開通と北急延伸後の再編計画
 - ・ 地域安全センター兼警察官立ち寄り所の開設
 - ・ 待機児童の状況と保育園の増設見込み
 - ・ 箕面池田線までの国文都市4号線第2区間開通後の道路安全対策及び周辺道路の歩道整備
 - ・ 茨木市立図書館分室の広域利用開始後の市民の利用状況と彩都地区の市立図書館整備予定
 - ・ 未就学児の遊び場と彩都なないろ公園の管理 など
- 箕面森町(水と緑の健康都市)について
 - ・ 学校法人施設の市民活用の現状と協議状況
 - ・ 第3区域の企業誘致状況と道路の安全対策
 - ・ 将来を見据えた通行料を含む交通利便性向上
 - ・ 医療施設開業と大型商業施設建設の調整状況
 - ・ 待機児童の状況と解消に向けた見通し など



～このような質疑を行いました～

本会議から各常任委員会に付託された議案などについて、慎重に審査しました。市に対する主な質疑項目をお知らせします。

文教常任委員会 【審査分野】教育、子育て、生涯学習、人権、文化など 【委員】委員長／牧野芳治 副委員長／尾上克雅 名手宏樹、藤田貴支、二石博昭

(審査議案／条例2件、予算2件、その他1件)

その他 指定管理者の指定の件

- PFI箕面船場まちづくり株式会社の構成企業と新文化ホールの維持管理を担うキョードーファクトリーの指定管理内容

当初予算 平成30年度一般会計

- 児童虐待に対する対応策及び方針
 - ・ 要保護児童の対応における民生委員との連携
 - ・ 児童虐待件数の推移と増加の背景
 - ・ 保育園などで虐待の疑いを発見した場合の対応
 - ・ 児童相談支援センターの組織体制と強化方策
- 保育所の待機児童の現状と今後の対策
- 中学校部活動休養日の試行状況と今後の方針
- 授業支援員配置の効果検証と教職員の事務軽減
- 通学区域ワークショップ及び通学区域審議会の開

- 催状況と議論の状況
 - 小・中学校へのタブレット端末の導入
 - ・ 導入の効果と子どもの視力への影響
 - ・ 教職員への端末活用の指導や研修体制
 - 市青少年吹奏楽団への支援の変更と今後の方針※
 - 市直営で実施する学童保育の運営体制

など



※市行事や地域などで吹奏楽を通じて幅広く活動を行い、青少年健全育成活動や市民の音楽文化の向上に大きく寄与しています。

民生常任委員会 【審査分野】福祉、住民登録、ごみ処理、病院など 【委員】委員長／武智秀生 副委員長／楠政則 村川真実、中嶋三四郎、中井博幸、尾崎夏樹

(審査議案／条例13件、予算11件)

条例改正 箕面市国民健康保険条例

- 激変緩和策及びその効果、保険料軽減の方策
- 広域化後の事務軽減、収納率の達成と今後の運営

条例改正 箕面市高齢者等介護総合条例

- 保険料の改定内容とサービスの見える化の実施

当初予算 平成30年度一般会計

- 街区表示板避難場所表記へのQRコード追加※
- 要連携生活相談の困窮者抽出及び事前対応の推進
- 障害者の移動支援における不利益の改善
- 特殊詐欺など消費生活被害者の救済

当初予算 平成30年度特別会計介護保険事業費

- 相談所設置モデル事業に伴う民生委員への支援策

条例制定 箕面市新市立病院整備審議会設置条例

- 委員構成、審議内容、審議会と基本計画の関連性

当初予算 平成30年度病院事業会計

- 超過勤務の削減及びER(救急救命室)の充実による経営改善
- 紹介患者減少の要因と院内改革による経営向上策

など



※耐用年数が経過した地区について、順次取り替えを行っており、各自治体に先駆けローマ字併記や避難所を表記しています。

附帯決議*

建設水道常任委員会、総務常任委員会で、右記の議案に、いずれも同趣旨の附帯決議が提出されました。

- 平成30年度箕面市一般会計予算 (建設水道常任委員会、総務常任委員会)
- 平成30年度箕面市特別会計財産区事業費予算 (総務常任委員会)

建設水道常任委員会 【審査分野】都市計画、道路、公園、消防、水道など 【委員】委員長／増田京子 副委員長／川上加津子 今木晋一、岡沢聡、林恒男

(審査議案／条例7件、予算7件、その他1件)

条例制定 箕面市生産緑地地区の区域の規模に関する条例

- 生産緑地の区域規模の引き下げとその効果

条例制定 箕面市特定太陽光発電設備の設置の規制に関する条例

- 景観を阻害する事象に対する規制とその内容

当初予算 平成30年度一般会計

- 空家の状況把握と空家に対する対応
- アレルギー食対応店の情報提供や市HPでの紹介※
- 放置自転車対策と市営自転車駐輪場の周知方法
- 消防力保全計画の策定と消防署体制の強化
- 消防団の将来像と消防出初式の在り方
- 住宅防火対策推進事業の全戸訪問の実施状況

条例改正 箕面市水道事業給水条例

- 水道料金を値下げする理由と料金体系

当初予算 平成30年度競艇事業会計

- ポートレース住之江の土地の一部を購入する理由
- ポートレース住之江の新規ファン獲得方法

など



※市HPで紹介するほか、食物アレルギーに配慮したメニューを提供する市内飲食店にステッカーを貼付しPRしていきます。

総務常任委員会 【審査分野】防災、税、情報システム、観光、北急延伸など 【委員】委員長／神代繁近 副委員長／田中真由美 神田隆生、中西智子、堀江優、内海辰郷、上田春雄

(審査議案／条例2件、予算5件、その他3件)

一括審査 特定事業契約締結の件及び指定管理者の指定の件

- (仮称)箕面船場駅前地区に整備する各公共施設の概要及び駐車台数予測と近隣駐車場の建設予定
- 特定事業契約書の中にある納付金の内容
- 民間事業者のノウハウの活用と採算性

当初予算 平成30年度一般会計

- 防犯カメラ設置後の街頭犯罪の発生状況と防犯カメラの少ない地域や開発地における今後の整備
- 交付金で設置したネットワークカメラの撤去理由
- 技術支援を受ける大阪市職員の業務内容
- 地域防災会議の役割、委員構成、女性の参画状況
- 急傾斜地崩壊対策の府との分担と市施工の基準
- サンプラザ1号館の1、2階を取得した理由※

- 民間企業と協同したセールスプロモーション事業の実施状況及び成果と今後の展開
- 国際文化公園都市(彩都地区)の企業誘致の状況
- (仮称)箕面船場駅前地区歩行者デッキの整備計画及び周辺住民への説明と合意形成の状況
- 都市計画区域内にある蓮池を先行取得する理由

など



※ビル再生を円滑に進めていくため、区分所有者からの買い取りの意向とタイミングが合えば、鑑定価格で取得しています。

《提出された附帯決議の概要》

財産区財産蓮池の取得などの関連予算は、昭和45年に都市計画公園として決定された区域の一部を取得するためのものであるが、蓮池を含む都市計画公園の整備については、幅広く市民や議会の理解と協力が得られるよう精査し、整備方針が整

うまで、箕面市土地開発公社による土地の先行取得をしないこと。あわせて、その間、民間開発などに供されないよう、市において接道の用途廃止など必要な措置を講じることを求める。

～市政のここが聞きたい～

市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。主な内容をお知らせします。

全ての一般質問を
動画で視聴できます

箕面市議会

検索

動画の内容は公式記録ではありません。



箕面国定公園の
復旧工事について

大阪維新の会箕面
武智 秀生



問 昨年10月に本市を直撃した台風第21号は、各地に甚大な被害を及ぼした。①特に被害が大きかった箕面公園の被災直後の状況は。②現在、通行止めとなっている区間の復旧状況は。③通行規制の案内掲示が分かりづらく、混乱を招いている。公園利用者の配慮も必要と考えるが、改善するのか。

答 ①滝道などで倒木や土砂崩れが多数発生し、通常の復旧作業では対応できない大規模な被害であった。②本年10月が全面開通の目標だが早期復旧に向け公園管理者の府と協議していく。③府に改善を依頼し一部変更されたが、改善の余地はあると考えている。多言語表記も含め取り組みを広げる。



滝道の倒木撤去作業

市立病院の改革プラン
について

自民党市民クラブ
中井 博幸



問 市立病院が平成29年2月に新・市立病院改革プランを発表し、1年後に改訂版を発表したが、改革プランと改訂版の平成28年度の収支見込み額が大きく異なる。見込み額が大きく変わると予測できたのはいつか。多額の差異が生じるにもかかわらず、議会へ報告する必要はないと思ったのか。日本一親切で信頼できる病院をめざして、実効性のある新たなプランを発表する意思はないのか。

答 平成29年1月に約7.4億円の赤字が見込まれたが、新改革プランは通例どおり確定している決算値や当初予算値を使用して作成した。不確定であっても、最新の見込み値を記載すべきであったと反省している。開業医としっかり連携し、開業医や市民により信頼される病院となるよう努めるとともに、再度大至急かつ徹底的に収支改善策を検証し、実効性のある新改革プランバージョン3を策定する。

幼児虐待を防ぐための
支援策について

無所属
中西 智子



問 虐待の発生予防の観点から一般子育て支援サービスを充実させることや支援に向けた体制が重要である。①4月から創設される「児童相談支援センター」には専門職が配置されるが、全員非常勤職員である。昼夜を問わない柔軟性や継続的な見守りが必要であり、常勤職員とすべきではないか。②社会福祉協議会との連携をはじめ、シングルマザー支援のNPOなど民間資源との連携はいかに。

答 ①センターには、センター長、副センター長や府の派遣職員のほか数名の常勤職員を置く。それに加え、国の補助制度を活用して体制を充実させるため専門職の非常勤職員11人を置くもの。②社会福祉協議会の事業を活用するとともに、SSW*、民生委員などにより深い連携を図る。個人情報観点から、NPOに対し情報提供を行う予定はないが、児童虐待通告に関する啓発を積極的に行う。

本市の観光振興
について

自民党市民クラブ
藤田 貴支



問 新名神高速道路の供用開始や北大阪急行線延伸により箕面へのアクセスが向上する中、更に多くの観光客を見込むことができる。そこで観光客への満足度をより向上させるべく、箕面大滝のほかに①農業体験や写経・茶道などの体験をアピールしてはどうか。②オレンジゆずバスを活用して箕面駅→箕面大滝→ビジターセンター→エキスポの森→勝尾寺といった休日の路線を考えては。

答 ①農業体験などは、観光協会実施の体験プログラムや個人事業として提供され、好評を得ている。新たなプログラムの事業化は、参入事業者の確保と事業の自立性・継続性が課題。他事例などの研究を進める。②運転手の確保や採算面の課題から、実現できなかった経緯がある。また、特に要望の多い箕面駅前と勝尾寺間は、阪急バスが一時運行されたが、昨年継続困難と判断され終了した。

公園における
ラジオ体操について

大阪維新の会箕面
今木 晋一



問 本市では「気軽に誰もが自分のペースでできる健康スポーツ」としてラジオ体操の普及を促進している。①現在の取り組み状況は。②世話人に長い間継続して活動してもらうためには、世話人以外の賛同が必要と考えるが、市の見解は。③参加者を増員するための取り組みは。

答 ①平成29年度は24会場で実施。参加者には滝ノ道ゆずる缶バッジやスポーツ教室の割引特典を配布。②地域団体と連携し、継続しやすい環境づくりへの協力や普及、啓発を呼び掛ける。③多様なツールや機会を活用し周知を図る。特に、夏休み期間中は、滝ノ道ゆずるが全会場へ赴くなどPRに努める。



青松園前東行き
バス停の移設について

大阪維新の会箕面
尾上 克雅



問 ①外院三丁目交差点西側に設置されているバス停は、上り坂の途中にあり、乗降する高齢者や後続の一般車などは危険を感じていると思うが、市は認識しているのか。②数m東へバス停を移動すれば平坦になり、歩道の幅員も広く切り込みを入れてバスの待機所を設けることも可能と思われる。市民が安全にバスを利用できるよう改善に向けた関係機関への働きかけなど、市の考えは。

答 ①当該バス停の道路管理者は大阪府であり、交通状況については府が認識していると考えますが、阪急バスからはバス停を現在の位置に設置後、約10年間、事故やトラブルはなく、苦情も受けていないことから危険であるとの認識はないと聞いている。②道路管理上、バス停の移設は府が必要性を判断するが、現況では事故を誘発する可能性もあるため、市としても関係機関と相談していく。



一般質問

公務員制度改革について



大阪維新の会 議員
堀江 優

- 問** ①新たな人事給与制度成立から4年を経た現在、職員のモチベーションの維持向上について、どのように検証、分析しているのか。②民間企業との人事交流はコスト意識やサービス意識を磨く意味のある取り組みだと考えるが今後の見通しは。③天下り規制の事実上の抜け道と言われている、定年間近の幹部職員が営利法人や公益法人などに出向する現役出向制度の本市での取り扱いはあるのか。
- 答** ①比較的若い職員が多く昇格する結果となった。頑張りや処遇で報われることや評価結果の所属長との面談を通じた適切なフィードバックが職員のモチベーションの向上につながると認識しており、今後も適切なフィードバックの励行に努めていく。②職員の意識改革や組織の活性化につながるため、今後も民間企業との交流を継続していく。③本市においては、制度的にも運用的にも事例はない。

児童虐待防止の対策と西南地域のまちづくり



大阪維新の会 議員
尾崎 夏樹

- 問** 昨年末発生した児童虐待事案に関し、平時の予防の観点、更に有事の際に虐待発見の実効性の確保の観点から、保育所における朝の受け入れ時の身体の見込みチェックの励行を求めるが市の見解は。
- 答** 保育士が子どもの心身の状況に配慮していることを保護者に理解してもらい、家庭訪問でも確認を行える関係づくりにもつながるため、今後、全ての公民保育所で実施する方向で調整していきたい。
- 問** 昨年来から瀬川踏切横の地下道の出入口付近の照明について早期の整備を求めてきたが、現状は。
- 答** 照度が国交省の基準を下回っており、現在改善に向けて準備中である。本年5月に完成予定である。
- 問** 西南地域の公共施設群の外周道路について、南側歩道の未補修部分も整備が必要と考えるが見解は。
- 答** 今後も危険箇所・問題箇所点検の結果などをもとに、路面の破損状況に応じて必要な対策を講じる。

(仮称)箕面船場駅前地区の拠点施設について



日本共産党
神田 隆生

- 問** ①施設内に新設される生涯学習センターの構成は、多目的室4室、スタジオ6室以上、会議室10室、フリースペース2室、和室1室、屋外運動施設というものである。ほかの生涯学習センターと大きな違いがあるのはなぜか。②このセンターも図書館同様、大阪大学の施設利用を想定し、大学が無償で指定管理を請け負うようだが、大学と一般市民の利用に際し、料金設定に違いがあるのか。
- 答** ①生涯学習センター利用者のアンケート結果や大阪大学の移転に伴うニーズなどを踏まえた計画で、屋外運動施設は、ヘルスケア拠点の整備に取り組んでいることも踏まえたもの。②利用料金は、現在調整中だが、これまでの指定管理施設と同様の取り扱いを想定している。大学として利用する場合は市民利用と同額とし、施設の設置目的達成のために利用する場合には、10割減免とする予定。

箕面市の教育の現状と課題、今後の方向性



箕面政友会
川上 加津子

- 問** ①小・中学校の職場は年齢的にも若く、経験5年以下の教職員が非常に多い。今後5年間でベテラン教職員のほとんどが退職だが課題は。②学校教育自己診断や教員の評価・育成システムなど、学校長のリーダーシップへの評価を問う調査の結果を受け、教育委員会のすべきことは。③定年退職後の教職員の働き方について、それぞれの学校で柔軟にできるように検討していただきたいが考え方は。
- 答** ①若手教職員の質の向上が課題。授業力確保のため「箕面の授業の基本」を策定。また、退職校長を教育専門員として採用し、若手教員の指導、講習を行っている。②一定の評価は得ているが、ビジョンを明確にした運営、子どもに対する丁寧な指導などが求められており、調査結果を踏まえ、校長に対し助言指導を行う。③専門性やスキルの活用などを意識した学校体制の構築に努める。

ともに学び、ともに育つ教育について



無所属
増田 京子

- 問** 通級指導教室の全校配置が望ましいが、2015年の質問時から1校増えただけ。中学校で指導をしているベテラン教師が退職されるが、そのスキルを引き継げるうちに新たな通級指導教室を増やす必要がある。文部科学省の動きも含め、教育委員会の見解と今後の取り組みは。発達障がいのある児童生徒のためのタブレット利用として、デイジー※教科書などが使えると考えるが対応策は。
- 答** 法改正により、通級指導教室担当教員の配置が加配定数から基礎定数になったことで、配置が手厚くなり、よりきめ細やかな指導が可能となる。本市では、今年度通級指導教室が小学校2校に増設され、小・中学校合わせて8人配置される。今後も教員配置数が全国標準を満たすよう国や府に要望する。デイジー教科書の活用については、活用事例を学校現場に周知し、利用について研究する。

サンプラザ再生へ市の主体的な取り組みを



日本共産党
名手 宏樹

- 問** 「船場やかやの中央のまちづくりに比べ、箕面駅前とサンプラザは置き去りになっている」との声がある。①昨年12月にサンプラザ1号館の「再生検討特命チーム」を立ち上げた目的は。②今後の検討方針として、いつまでにどうするのかの見通しはあるのか。③サンプラザ1号館の再整備は、箕面駅前と駅前商店街などの活性化を左右する。最大の床面積を所有している市の責任とは何か。
- 答** ①平成26年度に実施した耐震診断の結果、耐震補強が必要と診断され、将来を見据えた適切なビルの再生手法を検討することを目的としている。②実現可能な手法を各種法令に基づき、多方面から検討しているが、現時点では、模索中の部分も多く、明確な見通しは立てていない。③所有床の将来の在り方を自ら検討するとともに、最終的な方向性を決める決議に参加する責任がある。

箕面市立病院の経営改革の取り組みについて



箕面政友会
二石 博昭

- 問** 平成29年度の収支見込みは8億1,100万円の赤字。収支改善のためには、病床稼働率の向上が不可欠。病床稼働率向上のためには、患者の確保と、病床回転オペレーションの確立と、医師・看護師の確保が必要である。そこで、①開業医からの紹介患者をどのように増やしていくのか②退院支援に向けて今後どのように取り組むのか③医師の確保に向けてどのように取り組むのかを問う。
- 答** ①地域の医療機関へのPR活動の充実やコミュニケーションをしっかりとることで連携を図り、紹介患者数の増加につなげる。②(仮称)入院サポートセンターを設置し、入院前の段階から退院支援の取り組みを始める。③大阪大学との連携を密にして派遣を受けることを基本にしつつも、医師募集サイトへの掲載などにより医師の確保に努める。医師が働きやすい環境づくりにも取り組む。



※デイジー…視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人たちのためのデジタル録音図書

議員まちある記

vol.10

今回の取材担当：村川 真実、堀江 優

議会だより編集委員を務める議員が、市内の注目スポットなどを取材し、箕面の魅力をお届けします。

西南生涯学習センターがオープンしました！

約40年間にわたり地域の社会教育拠点としての役割を果たしてきた西南公民館が、新しく西南生涯学習センターとして生まれ変わり、2月1日にオープンしました。意見交換会においても建て替えについてご意見をいただき、本会議でも議論が重ねられ今日に至ります。約100人収容のホールや赤ちゃんの駅併設のプレイルーム、アートルーム、料理実習室などを完備し、新たな地域の活動拠点としてこれからもたくさんの方々に愛される施設になることを期待しています。ぜひご利用ください！

今回のスポットはここ！

西南生涯学習センター

開館時間 午前9時～午後10時

休館日 月曜日(休日を除く) 場所 瀬川3-2-5



ホール

プレイルーム

第112号
6月30日

表紙写真を募集！

詳しくは…

みのお市議会だより 検索



募集要項



掲載者に
謝礼品進呈！

応募条件 市内在住、在職、在学のかた

テーマ 季節感のある市内の風景写真

応募方法 写真(データまたはプリント)とともに、住所(市外在住は通勤・通学先名も併記)、氏名、電話番号、撮影場所・時期、議会だより「ささゆり」8月号表紙への応募である旨を明記(様式自由)。1人5点まで

応募先 6月30日(土)(必着)までに議会事務局へ郵送、電子メール。または29日(金)午後5時15分までに持参
〒562-0003 箕面市西小路4-6-1
✉ minohsigikai@office.eonet.ne.jp
TEL(072) 724-6705

《注意事項》①人物が写り込んでいる場合は、個人が特定されないのに限ります②議会だより編集委員会にて採用作品を決定します③応募作品は返却しません④応募者自身に著作権がある作品に限ります。著作権・肖像権などあらゆる権利に関する問題は、応募者の責任と負担で解決するものとします

みのお市議会だより
平成30年(2018年)5月15日発行

次回定例会のお知らせ

6/8～6/29 開催予定

6 June 2018						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8 本会議①	9
10	11	12 常任委員会	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28 本会議②	29 本会議③	30

①議案説明ほか ②討論・採決、一般質問 ③一般質問
(進行状況により変更となる場合があります)

動画でCheck!

議会の模様を動画で視聴できます。動画の内容は公式記録ではありません。

ライブ中継・録画配信

箕面市議会 検索



タッキー816でCheck!

一般質問や代表質問などの録音、ラジオ(FM81.6MHz)・スマホ・パソコンで聴取できます。

タッキー816 検索



点字と声の議会だより

点字と声(テープ版、CD版、デージー版)による議会だよりも発行しています。視覚障害のあるかたで希望されるかたは、議会事務局へご連絡ください。

箕面市統一キャンペーン



次号は、平成30年8月15日発行予定です